

新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成23年 2月 7日		
		事業担当課		防災砂防課		
事業名	しもざわ 下沢急傾斜地崩壊対策事業		補助・単独の別	単独	事業主体	宮城県
	いしのまきしきたかみちようなが おあざしもざわ 石巻市北上町長尾字下沢				管理主体	宮城県
	根拠法令					急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律
事業の概要	事業目的					
	<p>下沢は石巻市北上町長尾字下沢に位置し、保全対象として人家6戸、避難場所である長尾生活センターへ通じる市道大須長尾線を含む急傾斜地崩壊危険区域である。平成8年に斜面崩壊があり、その後も小崩壊が発生している。</p> <p>このようなことから、急傾斜地崩壊対策事業で斜面对策を実施し、斜面崩壊を防止し、民生の安定を図るものである。</p>					
	事業内容					
法面工 L = 200m						
事業費						
全体事業費		費用負担内訳				
	内地費	国	県	市町村	その他 ()	
		[0%]	[90%]	[10%]	[0%]	
2億円	- 億円	億円	1.8億円	0.2億円	億円	
事業期間						
事業期間		平成23年度～平成27年度(5年間)				
用地買収着手予定年度		平成 - 年度	工事着手予定年度		平成24年度	
施設管理の予定						
急傾斜地崩壊防止施設の主な管理は県となるが、側溝清掃や斜面下部の除草など簡易な維持管理は地元住民において実施することとしている。						

事業の必要性	上位計画等
	<ul style="list-style-type: none"> ・土木行政推進計画（宮城県土木部 平成13年策定 平成22年3月部分改訂）
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢等
	<p style="text-align: center;">社会経済情勢</p> <p>平成21年7月の豪雨により山口県防府市において、土砂災害により大きな被害を受けるなど、昨今の異常気象の多発により、全国各地で土砂災害が多発している。平成21年には、発生件数1,058件、死者行方不明者22名もの被害が発生しており、土砂災害対策に対する社会の要請は今後ますます高まっていくと思われる。</p> <p>【保全施設】 人家6戸，石巻市道大須長尾線（避難路） L=150m</p> <p>【過去の災害実績】 平成8年に斜面崩壊が発生。その後も小崩壊が発生している。</p> <p style="text-align: center;">地元情勢、地元の意見</p> <p>【地域の防災体制】 平成8年度に発生した斜面崩壊や、その後の小崩壊もあり、地元の危機感も高まっており、事業に対する同意も得られている。</p>
事業の有効性	事業効果
	<p style="text-align: center;">想定される事業効果</p> <p>人家6戸の人命及び財産の保全 避難場所である長尾生活センターへ行くための市道大須長尾線の保全</p>

事業の効率的性	関連事業の概要・進捗状況等																										
		なし																									
	代替案との比較検討																										
		移転適地がないことから家屋移転等の対応は困難である。																									
	コスト縮減計画																										
		詳細設計未了のため今後検討予定。																									
	費用対効果																										
		<u>根拠マニュアル：治水経済調査マニュアル（平成21年2月改定版）</u> <u>社会的割引率： 4 %</u> <u>便益算定期間： 50 年</u> <u>基準年：平成23年</u>																									
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">費</td> <td style="width: 35%;">建設費</td> <td style="width: 60%; text-align: right;">200百万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">用</td> <td>維持管理費</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">項</td> <td>総費用</td> <td style="text-align: right;">200百万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">目</td> <td>現在価値（C）</td> <td style="text-align: right;">182百万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">便</td> <td>直接被害軽減効果</td> <td style="text-align: right;">1,171百万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">益</td> <td>総便益</td> <td style="text-align: right;">1,171百万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">項</td> <td>現在価値（B）</td> <td style="text-align: right;">449百万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">目</td> <td>費用便益比（B / C）</td> <td style="text-align: right;">2.47</td> </tr> </table>		費	建設費	200百万円	用	維持管理費	-	項	総費用	200百万円	目	現在価値（C）	182百万円	便	直接被害軽減効果	1,171百万円	益	総便益	1,171百万円	項	現在価値（B）	449百万円	目	費用便益比（B / C）	2.47
費	建設費	200百万円																									
用	維持管理費	-																									
項	総費用	200百万円																									
目	現在価値（C）	182百万円																									
便	直接被害軽減効果	1,171百万円																									
益	総便益	1,171百万円																									
項	現在価値（B）	449百万円																									
目	費用便益比（B / C）	2.47																									

環境への影響と対策	地域指定状況等										
		なし									
	影響と対策										
		緑化工法を積極的に採用し、周辺森林環境への影響を最小限とする。									
総合評価	事業箇所評価結果										
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評点による順位</th> <th style="width: 20%;">予算化された箇所数</th> <th style="width: 65%;">評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">急傾斜地崩壊対策事業（新規事業箇所）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2位 / 2</td> <td style="text-align: center;">2箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	急傾斜地崩壊対策事業（新規事業箇所）			2位 / 2	2箇所	
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)								
	急傾斜地崩壊対策事業（新規事業箇所）										
2位 / 2	2箇所										
	対応方針										
		事業実施									

しもぎわ 下沢地区 急傾斜地崩壊対策事業

みやぎけん いしのまきし きたかみまち
宮城県 石巻市 (旧北上町)

下沢は宮城県東部の石巻市北上町長尾字下沢に位置し、**保全対象として人家6戸**、避難場所である**長尾生活センター**へ通じる**市道大須長尾線**を含む**急傾斜地崩壊危険区域**である。

当該斜面は、高さH=40m程度で傾斜角が45度程度の急崖斜面を呈しており、平成8年に斜面崩壊があり、その後も小崩壊が発生している。今後も降雨等により崩落の発生が懸念される。

このことから本事業において、斜面对策を実施し、危険区域内の保全対象をがけ崩れから保全する必要がある。

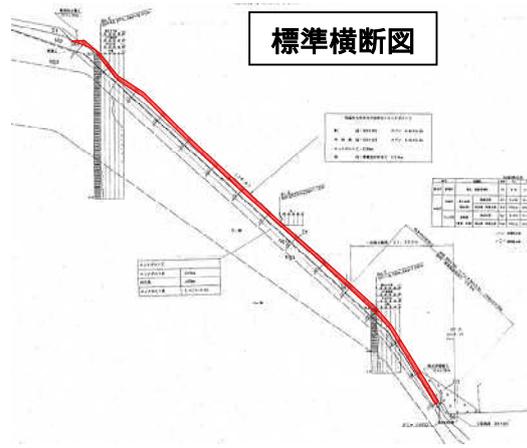
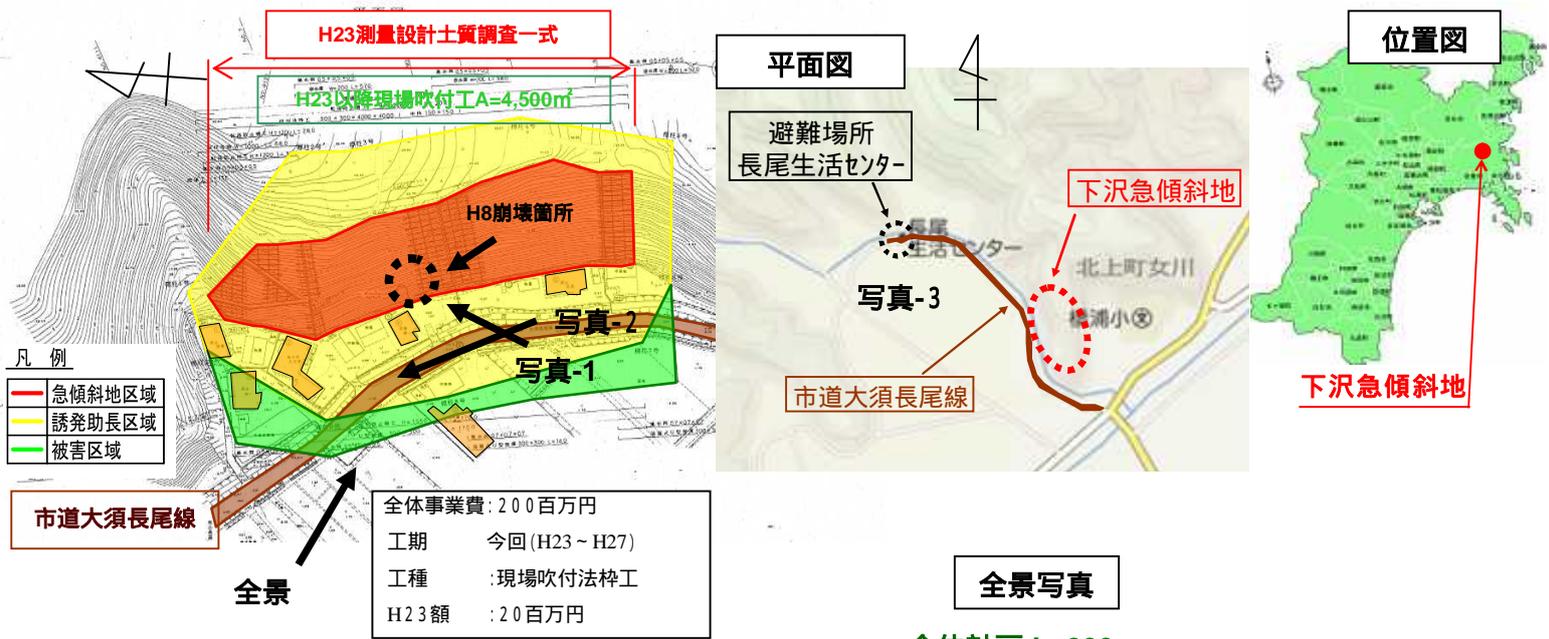


写真-1 崩壊箇所

写真-2 市道大須長尾線

写真3 避難場所 (長尾生活センター)